

第159期 中間株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

新家工業株式会社

証券コード:7305

株主の皆様へ



取締役社長

井上 智司

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、第159期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な金融

引き締め等が続く中、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しています。

鉄鋼業界においては、原材料、燃料価格の高騰、自動車等の半導体を中心とする部品供給の遅れの長期化、急激な円安、ウクライナ情勢の長期化により、国内の鋼材需要は総じて弱含みの様相をみせております。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、主力の鋼管事業を中心に、原材料やエネルギー、副資材等のコスト上昇分に対し、販売価格の引き上げに注力するとともに需要の変化に

対し、効率的な生産を実施することでコスト削減に努力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,117百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益2,558百万円（前年同期比101.5%増）、経常利益2,875百万円（前年同期比105.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,863百万円（前年同期比101.2%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、安定的かつ継続的な配当を行う基本方針に基づき、当期の業績ならびに今後の事業展開を勘案いたしまして、1株につき20円とさせていただきます。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、経済回復が期待される一方で、ウクライナ情勢の長期化や半導体を中心とする部品供給制約による生産活動の停滞、急激な円安、物価上昇など、鉄鋼需要の下振れリスクが懸念されます。

このような中、当社グループにおきましては急激な市況の変化に対応するとともに、適正な販売価格の維持と生産性の向上によるコスト低減を図り、収益確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

財務ハイライト（連結）

● 売上高（連結）



● 経常利益（連結）



● 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益（連結）



事業別概況

鋼管関連事業

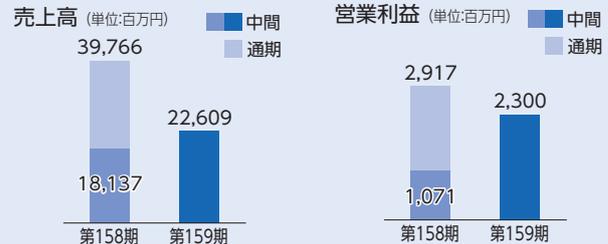
売上高
22,609百万円
前年同期比 **24.7%**増

普通鋼製品につきましては、物流倉庫やデータセンターなど大型案件を中心とした需要は底堅く推移しました。しかし、中小案件は鋼材価格の高騰による投資の見直し、夏場の猛暑や人手不足による工期や着工の遅延などの影響により需要に陰りが見え始めました。

ステンレス鋼製品につきましては、春先以降のニッケル価格高騰に伴う製品価格の先高観により販売増となりました。ニッケル価格も第2四半期には一服感がみられたものの、半導体装置や医療、食品、薬品関連、水処理等公共投資関連を中心に需

要は底堅く推移しました。

この結果、当事業の売上高は22,609百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益は2,300百万円（前年同期比114.7%増）となりました。



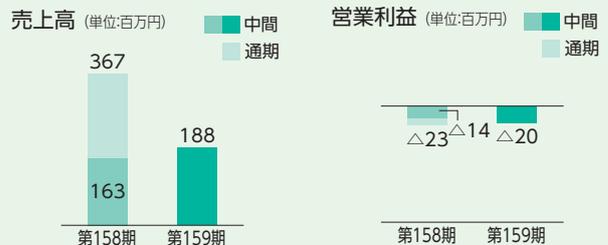
自転車関連事業

売上高
188百万円
前年同期比 **15.6%**増

自転車関連につきましては、コロナ禍における世界的な自転車への高い関心も落ち着きを見せる中、生産拠点である中国や東南アジアの回復に伴い、国内市場における品薄状態は徐々に改善されつつあるものの、依然として部品不足による完成自転車の供給遅延は続いております。

新ブランド（POLYGON）の投入など積極的な営業活動を実施しましたが、急激な円安による仕入価格上昇など、輸入自転車販売をとりまく環境は厳しい状況が続きました。

この結果、当事業の売上高は188百万円（前年同期比15.6%増）、営業損失は20百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。



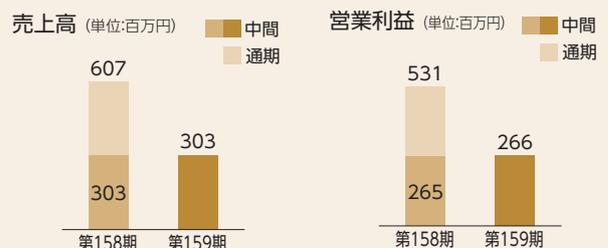
不動産等賃貸事業

売上高
303百万円
前年同期比 **0.0%**増

不動産等賃貸収入につきましては、東京都大田区の地代収入を中心に、関西工場リム工場跡地の地代収入や東京都江東区の自社ビル「アラヤ清澄白河ビル」の賃貸収入、大阪府茨木市の地代収入などにより、安定した業績をあげております。

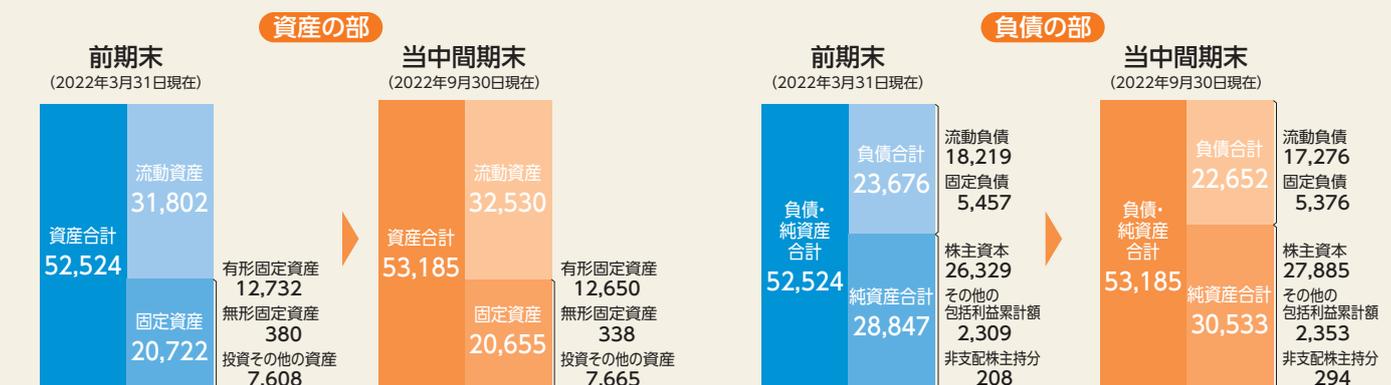
この結果、当事業の売上高は303百万円（前年同期比0.0%

増）、営業利益は266百万円（前年同期比0.3%増）となりました。



連結財務データ

● 連結貸借対照表 (単位:百万円)



会社法改正に伴う 株主総会資料の電子提供制度と 当社の対応について



電子提供制度とは

会社法改正により、2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料の電子提供制度が導入されます。本制度は、株主総会資料を自社のホームページ等のwebサイトに掲載し、株主の皆様にお届けする通知書面記載のURL（アドレス）からwebサイトにアクセスいただくことにより、株主総会資料を提供することができるものです。

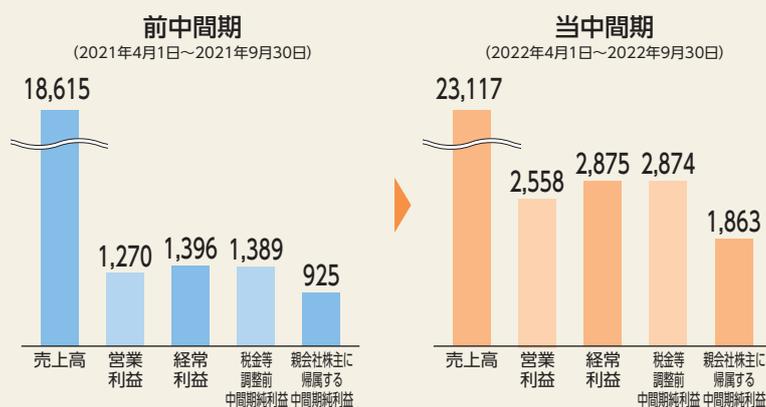
そのため、株主総会資料を書面で受領することを希望する株主様は、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社または株主名簿管理人を通じて書面交付請求の手続きを実施いただくこととなっております。



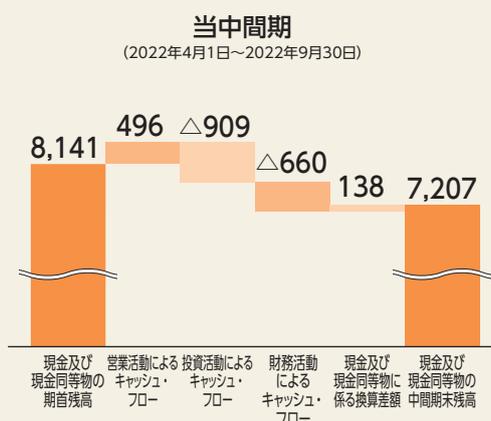
当社の対応について

当社では、2023年6月開催予定の定時株主総会から本制度が適用されることとなりますが、同総会においては、書面交付請求の有無に関わらず、議決権を有する株主様に、同一の株主総会資料を送付予定でございます。

● 連結損益計算書 (単位:百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



■ 会社の概要

社名	新家工業株式会社
設立	1919年11月25日
資本金	3,940,277,093円
本社	大阪府大阪市中央区南船場二丁目12番12号
営業所	営業本部 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 東京営業所(鋼管) 東京都江東区白河四丁目4番11号 アラヤ清澄白河ビル2階 名古屋営業所(鋼管) 愛知県名古屋南区荒浜町三丁目1番
工場	関西工場 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 名古屋工場 愛知県名古屋南区荒浜町三丁目1番 千葉工場 千葉県印旛郡酒々井町伊篠字大山468-1 山中工場 石川県加賀市山中温泉上原町の3
関係会社	* アラヤ特殊金属株式会社(大阪府大阪市) * 大栄鋼業株式会社(大阪府岸和田市) * ステンレスパイプ工業株式会社(大阪府堺市) * PT.アラヤ スチール チューブ インドネシア(インドネシア共和国) アトラスark株式会社(埼玉県越谷市) (*印は連結対象子会社)

■ 役員 [2022年12月8日現在]

代表取締役社長	井上 智 司
代表取締役常務	北村 哲 也
常務取締役	浜田 哲 洋
常務取締役	松尾 政 哉
取締役	市川 圭 司
社外取締役	山中 拓 郎
取締役(常勤監査等委員)	安 仲 勤
社外取締役(監査等委員)	西尾 宇 一郎
社外取締役(監査等委員)	鈴木 蔵 人

ホームページのご案内
<https://www.araya-kk.co.jp>



■ 株式の状況

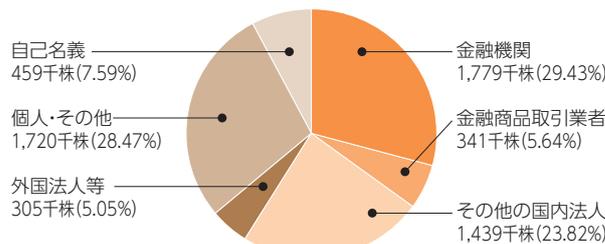
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	6,045,326株
株主数(単元未満株主数を含む)	3,840名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	464千株	8.31%
株式会社北國銀行	258	4.63
株式会社三菱UFJ銀行	258	4.63
一般社団法人ツバメの会	245	4.39
株式会社りそな銀行	209	3.75
阪和興業株式会社	177	3.17
株式会社みずほ銀行	157	2.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	156	2.79
加賀商工有限会社	143	2.56
上田八木短資株式会社	127	2.27

(注) 1. 持株数については千株未満を、持株比率については小数点以下第三位をそれぞれ切り捨てて表示しています。
 2. 持株比率は自己株式(459千株)を控除して計算しています。
 3. 当社保有の自己株式を除く上位10名を記載しています。

■ 所有者別株式分布状況



(注) 株式数については千株未満を切り捨てて表示しています。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.araya-kk.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。